

EFインターナショナル

トイレコンテナで労働環境を改善

女性採用最大の障壁を解消

海上コンテナの売買などを手掛けるEFインターナショナル（横浜市）が今夏、新たに「トイレコンテナ」を開発した。港湾作業のメインフィールドであるコンテナヤードでは、現場から離れた管理棟などのトイレに行く必要があるほか、老朽化が目立つ施設も少なくない。また、トイレは労働環境の改善に向けた取り組みとして見落とされがちで、人手不足を背景に企業が女性採用の拡大を打ち出す中、喫緊の課題とも言える。トイレコンテナは移動式で簡単に設置できるだけでなく、建設現場などで目にする仮設トイレに比べて快適性や衛生面などにも拘っているという。担当者は「災害時にも役立つ。港湾運送企業の関係者も導入を検討してほしい」と話した。

港湾業界で深刻化する人手不足への対応として、労働環境の改善に向けた取り組みが急ピッチで進められている。労働環境の改善というと、労働時間の改善や賃上げなどが真っ先に思い浮かぶが、EFインターナショナルの担当者は「トイレ環境も働く人にとってモチベーションを左右する」と指摘する。

特に港湾では、コンテナヤードの現場にトイレがなく、管理棟などへ移動する必要がある。また、設備の老朽化による故障などもあり、快適なトイレ環境とは決して言えないのが実情だ。

そこで、港湾の現場に精通したEFインターナショナルが新たにトイレコンテナの開発を進め、今年6月にリリースした。

サイズは縦横2.5m×高さ3m、重さ1.5トンと、ユニック車（クレーンを装備したトラック）1台で輸送でき、どこにでも設置できるのが特徴。2室（各部屋トイレ1つずつ設置）が1セットのため男女で使い分けることもできる。

建設現場などで目にする仮設トイレとの差別化も図っている。上下水道への接続は不要で、置くだけで使用



トイレコンテナの外観

可能だという利便性は同じでありながらも、水循環型を採用し、初回に約700ℓの水を投入するだけで、約1000回は使用できる（1室当たり）。

仮設トイレでは3～4日程度で汚物を汲み取る必要があるが、トイレコンテナは3～4週間ほど使用可能。耐久性も仮設トイレの3～4倍の約20年間はトラブルなく使え、初期費用こそ仮設トイレに分があるものの、汲み取りなどのようなランニングコストは著しく低く抑えられる。

さらに水循環式や、し尿処理装置による浄化などにより悪臭も抑制。仮設トイレは使用中の音漏れや足下がグラグラするなど不安定さなどにより、「落着いて用を足せない」といった声もあるが、トイレコンテナは水の循環音に加え、壁が音漏れしない設計となってお

り、足下も頑丈な造りとなっている。

室内の広さは家庭のトイレ並みで、付帯設備としてLED照明、鏡付き洗面台、衣類フック、荷物棚、二重ロックによる施錠、外付けコンセントなども完備しており、通常のトイレと遜色ない使用感。室内灯は人感センサー付きであるなど、消費電力を最小限に抑えた設計にもなっている。

EFインターナショナルの担当者は「手間がかからない省メンテナンス、ランニングコストを抑制できる低維持費、故障が少ない安定稼働がトイレコンテナの特徴だ。普段使いだけでなく、災害時などいざという時にも役立つ」と説明する。

現在は港湾への導入に向けて積極的な販促活動を展開している。「ぜひ仮設トイレなどとは違うトイレコンテナの良さを知ってもらいたい。港湾現場の労働環境の改善にもつながる。要望があれば、どこにでも説明に伺う」と語っている。

なお、問い合わせ先は次の通り。
▽EFインターナショナル＝電話：045-264-4540（担当：末永孝一氏）、
URL：<https://www.ef-international.com/toilet-container/>